



2-1懐メロ

富士宮市内房の寄り合い処「仲良し寄り合い処」に集まった皆さんのオープニングは、仲間の奏でるリコーダーの演奏に合わせて歌う唱歌「ふじ山」です。

高音質で難しい歌ですが、今日お集りのみなさんが小学校3年生当時の歌唱共通教材に指定されていて、日本伝統曲としてよく歌われていた曲「ふじ山」でもあり、若き時代にタイムスリップしたかのように高音ですてきな歌声が「寄り合い処」に響きわたりました。

指揮を執っているのは、仲良し寄り合い処 代表者でもあり「てっぱん焼き もっち」のご主人で、皆さんの歌声の中に溶け込んでの名指揮者でした。



2-2リコーダー



1-1望月輝彦さん

自宅兼店舗を開放して「仲良し寄り合い処」を開催した代表者 望月輝彦さんは、18歳で東京に出て58歳の時に故郷 内房に戻ってきたとき、ご近所どうし縁側に腰を掛け、ひなたぼっこしながらおしゃべりをしていた昔の光景を思い起こし、身近な地域の方たちが、気軽におしゃべりができ、ふれあいの場がどこでも見受けられる故郷にしたいとの一心で、地域を元気にする「仲良し寄り合い処」を自宅で開催するようになり、富士宮市社会福祉協議会と連携し、地域の寄り合い処の運営推進者として活躍しています。



3-1熱唱

若かりし青春時代を思い出しながら仲間と歌う曲は、まさに懐メロ「青い山脈」「瀬戸の花嫁」「ああ上野駅」など多彩な曲を、みんなで楽しく歌いながら脳トレも取り入れるなど、工夫を凝らした望月輝彦さんの名司会進行は続きます。

- ①「ああ上野駅」は、誰が歌っていましたか？（答え：井沢八郎）
 - ②このヒット曲は昭和何年に生まれましたか？（答え：S39年）
 - ③この曲が出た年に大きなイベントがありました。なにでしたか？（答え：東京オリンピック）
- 皆さん驚くほどお元気で、脳年齢も非常に若いですね。



3-2熱唱



[4-1健康体操](#)

歌って・脳トレをした後は、軽い体操「肩たたき」が始まりました。身も心もほぐれ皆さんの笑顔がとても素敵でした。



[5-1スタッフ料理](#)

裏方の調理場では、望月さんの奥さんや、地域にお住いのスタッフの皆さんが、腕をお振るっておもてなしの料理を作っています。鉄板の上では美味しそうなお好み焼きが食べごろに焼きあがっています。



[DSC_0001](#)

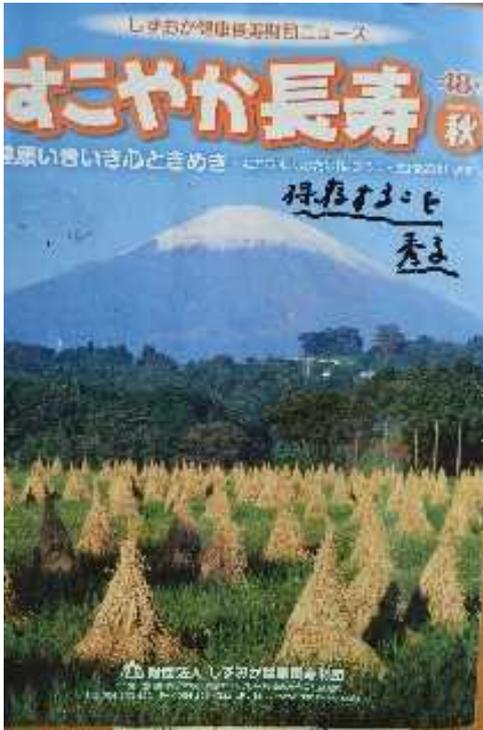


[6-1食べながらお話](#)

スタッフの皆さんが心を込めて 伺らえてくれた料理を食べながらの語らいは、途切れることなく続いています。



[6-2楽しく食べて](#)



7-1すこ長

7-2すこ長

参加者の望月秀子さんが、貴重な資料を持参し説明してくれました。なんと平成22年に発行された静岡県しずおか健康長寿財団発行の季刊誌「すこやか長寿48号(秋号)」です。当時の望月さんが「ボランティア活動は私の天命」と題して活躍している内容が掲載されている季刊誌です。今でも望月さんの大切な宝物として大事にされています。



8-1まつり

富士宮地区は、118か所ある寄り合い処が活発に活動しており、みなさんが楽しみながら支え合い気軽に立ち寄れる居場所で語り合い、絆を深める地域の繋がりを大切にしています。令和元年6月11日(火)には、芝富地区・内房地区16か所のみなさんが「芝川公民館くれいどる芝楽文化ホール」に集まり、第2回寄り合い処まつりが開催されます。みなさんで楽しみながら絆を深めていただきたいと思います。

取材：富士・富士宮・北駿地区担当 生きがい特派員 渡邊英機